

令和2年度使用小学校用教科書

選定資料

外国語（英語）編

令和元年6月

愛知県教育委員会

○ 学習指導要領の目標で示された資質・能力の育成を図ることができること

外国語によるコミュニケーションにおける見方・考え方を働かせ、外国語による聞くこと、読むこと、話すこと、書くことの言語活動を通して、コミュニケーションを図る基礎となる資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

- (1) 外国語の音声や文字、語彙、表現、文構造、言語の働きなどについて、日本語と外国語との違いに気付き、これらの知識を理解するとともに、読むこと、書くことに慣れ親しみ、聞くこと、読むこと、話すこと、書くことによる実際のコミュニケーションにおいて活用できる基礎的な技能を身に付けるようにする。
- (2) コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、身近で簡単な事柄について、聞いたり話したりするとともに、音声で十分に慣れ親しんだ外国語の語彙や基本的な表現を推測しながら読んだり、語順を意識しながら書いたりして、自分の考えや気持ちなどを伝え合うことができる基礎的な力を養う。
- (3) 外国語の背景にある文化に対する理解を深め、他者に配慮しながら、主体的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとする態度を養う。

○ あいちの教育の基本理念に照らして適切な事項が示されていること

「自ら高めること」と「社会に役立つこと」を基本的視点とした「あいちの人間像」の実現
(「あいちの教育ビジョン2020」より)

教科書選定の観点・着眼点（外国語《英語》）

観 点	着 眼 点
1 学習指導要領との関連	ア 教育基本法、学校教育法にのっとった学習指導要領の趣旨を踏まえ、効果的に編集されているか。
2 「あいちの教育の基本理念」との関連	ア あいちの教育ビジョン2020に掲げられた「あいちの教育の基本理念」に資する特色が見られるか。
3 内 容	(1) 内容の選択 ア 実際の言語の使用場面や言語の働きに配慮した言語材料及び題材の選択は適切か。 イ 外国の人々及び日本人の日常生活・風俗習慣・文化・ものの見方・考え方等に関するものを含めて、国際理解に役立つ題材が適切に取り上げられているか。 ウ 英語の学習に対する興味・関心や意欲を高めるような内容の工夫がされているか。
	(2) 内容の程度 ア 外国語活動の内容を繰り返し活用しつつ、広がりのある話題を設定するなど、外国語活動との関連が図られているか。 イ 外国や日本の生活の文化及び習慣について理解を深めるとともに、言語や文化への関心を高めるよう工夫されているか。 ウ 文及び文構造については、言語活動の中で基本的な表現として繰り返し触れるような工夫がされているか。
	(3) 内容の構成 ア 教材が系統的に組み立てられ、その配列や関連付けが適切であるか。 イ 音声十分に慣れ親しんだ後に、「読むこと」「書くこと」の言語活動に取り組めるよう工夫されているか。 ウ 丁寧な文字指導や読み書きの指導ができるよう構成されているか。
4 表記・表現及び使用上の便宜等	ア 音声・符号等の学習に配慮がされているか。 イ 児童の興味・関心・意欲を高めるような、適切な表記・表現がされているか。 ウ 本文記述と挿絵・イラスト・写真・図表等に適切な関連付けがされているか。 エ 目次・索引・注・凡例・諸表・資料等が、必要に応じて用意されているか。
5 印刷・造本等	ア 印刷の鮮明度、文字の大きさ、色彩等は適切であるか。 イ ユニバーサルデザイン化が図られているか。 ウ 造本の堅ろうさや体裁は適切であるか。

観 点	着 眼 点
1 学習指導要領との関連	ア 教育基本法、学校教育法にのっとった学習指導要領の趣旨を踏まえ、効果的に編集されているか。

(注) 特徴・長所等欄の各項目先頭の符号は、着眼点との関連を表す。

発 行 者	特 徴 ・ 長 所 等
2 東 書	ア 一つの単元に5領域の言語活動が適切に設定され、コミュニケーションを図る基礎となる資質・能力を育成するよう編集されている。 ア 自分で選んだ英語を使って行う活動が豊富で、主体的にコミュニケーションを図ろうとする態度を育成するよう編集されている。
9 開 隆 堂	ア 5領域の言語活動がどの単元にも適切に設定され、コミュニケーションを図る基礎となる資質・能力を育成するよう編集されている。 ア 学んだ言語材料を活用し、友達と伝え合う活動を通して、主体的にコミュニケーションを図ろうとする態度を育成するよう編集されている。
11 学 図	ア 学習の進め方や既習事項の復習が分かりやすく設定され、コミュニケーションを図る基礎となる資質・能力を育成するよう編集されている。 ア 身近な場面を設定し、ペアで自分の思いを伝え合う活動を通して、主体的にコミュニケーションを図ろうとする態度を育成するよう編集されている。

15 三省堂	<p>ア 学ぶ目標が分かりやすく提示されており、言語活動を通してコミュニケーションを図る基礎となる資質・能力を育成するよう編集されている。</p> <p>ア 興味を喚起させる場面を設定し、グループ活動等を通して、主体的にコミュニケーションを図ろうとする態度を育成するよう編集されている。</p>
17 教出	<p>ア 5領域の目標を達成できるように言語活動が設定され、コミュニケーションを図る基礎となる資質・能力を育成するよう編集されている。</p> <p>ア 日常的な会話等、実際の使用に即した場面が設定され、主体的にコミュニケーションを図ろうとする態度を育成するよう編集されている。</p>
38 光村	<p>ア 5領域の言語活動が分かりやすく示されており、コミュニケーションを図る基礎となる資質・能力を育成するよう編集されている。</p> <p>ア 場面設定がはっきりしており、児童が考える活動を取り入れ、主体的にコミュニケーションを図ろうとする態度を育成するよう編集されている。</p>
61 啓林館	<p>ア 目標を達成させるために段階的に言語活動が設定され、コミュニケーションを図る基礎となる資質・能力を育成するよう編集されている。</p> <p>ア 身近な題材や異文化に関連する内容を扱うことで、主体的にコミュニケーションを図ろうとする態度を育成するよう編集されている。</p>

観 点	着 眼 点
2 「あいちの教育の基本理念」との関連	ア あいちの教育ビジョン2020に掲げられた「あいちの教育の基本理念」に資する特色が見られるか。

(注) 特徴・長所等欄の各項目先頭の符号は、着眼点との関連を表す。

発行者	特 徴 ・ 長 所 等
2 東 書	<p>ア 日本の遊びや年中行事等の伝統文化を紹介することで、世界に日本のよさを発信しようとする児童を育成するよう工夫されている。</p> <p>ア 外国の生活や文化を理解し尊重する心を育み、国際社会の平和と発展に寄与する態度を養うことができるよう配慮されている。</p>
9 開 隆 堂	<p>ア 日本人のよいところを話し合うことで、日本人としての誇りと自覚をもって世界に目を向けることができる児童を育成するよう工夫されている。</p> <p>ア 世界で活躍する日本人について学び、国際社会で生きていく自分の将来について深く考えることができるよう配慮されている。</p>
11 学 図	<p>ア 日本の偉大な歴史上の人物や日本の伝統文化、名所を取り上げ、世界に向けて日本のよさを発信できるよう工夫されている。</p> <p>ア 世界的に有名な人物について学ぶことで、社会に役立つ人材とは何かを考えることができるよう配慮されている。</p>

<p>15</p> <p>三省堂</p>	<p>ア 日本の名所について学び、発表する構成となっており、様々な日本の文化について視野を広げていくよう工夫されている。</p> <p>ア 児童の世界を広げる題材を通して、国際的な視野を広げ、主体的に社会に参加する態度を育成するよう配慮されている。</p>
<p>17</p> <p>教出</p>	<p>ア 自分の住んでいる町のよさや日本の名所や名物を紹介するなど、世界に向けて日本の文化や自分の地域のよさを発信できるよう工夫されている。</p> <p>ア 世界の名所や食文化について触れ、国際的な視野を広げることができるよう配慮されている。</p>
<p>38</p> <p>光村</p>	<p>ア 世界で活躍する人々を題材に取り上げることで、日本人として国際社会に貢献する態度を育成するよう工夫されている。</p> <p>ア 国際色豊かな登場人物の自己紹介や将来の夢について触れることで、多様な文化や価値観を受け入れられるよう配慮されている。</p>
<p>61</p> <p>啓林館</p>	<p>ア 日本の伝統と文化を題材に取り上げることで、世界に日本のよさを発信しようとする児童を育成するよう内容が工夫されている。</p> <p>ア 外国の魅力や食文化について学習することで、他国を尊重し、国際社会の平和や発展に寄与する態度を養えるよう配慮されている。</p>

観 点	着 眼 点
3 内 容 (1) 内容の選択	<p>ア 実際の言語の使用場面や言語の働きに配慮した言語材料及び題材の選択は適切か。</p> <p>イ 外国の人々及び日本人の日常生活・風俗習慣・文化・ものの見方・考え方等に関するものを含めて、国際理解に役立つ題材が適切に取り上げられているか。</p> <p>ウ 英語の学習に対する興味・関心や意欲を高めるような内容の工夫がされているか。</p>

(注) 特徴・長所等欄の各項目先頭の符号は、着眼点との関連を表す。

発行者	特 徴 ・ 長 所 等
2 東 書	<p>ア 自己紹介や道案内、メニューの注文、夏休みの思い出等、日常生活の中でよく使われる言語材料や題材が適切に選択されている。</p> <p>イ 「日本のすてき」では、日本文化を愛する海外の人物の話に触れ、自国の文化のよさを学ぶことができる題材が適切に取り上げられている。</p> <p>ウ 各単元の後半では、学習目標の中心となる言語活動の目的・場面・状況が視覚的に示されており、興味・関心や意欲を高める工夫がされている。</p>
9 開 隆 堂	<p>ア 道案内や自分の町紹介、買物等、自然で身近な場面の中で、実際に活用できる言語材料や題材が適切に選択されている。</p> <p>イ 日本文化と世界文化を比較できる単元が設定されており、自国の伝統や文化について再発見できるよう題材が適切に取り上げられている。</p> <p>ウ 身の回りの題材から、世界に目を向けた題材まで幅広い内容で構成されており、興味・関心や意欲を高める工夫がされている。</p>
11 学 図	<p>ア 学校での一日の生活や夏祭り等の場面が設定され、より身近な生活場面で使用できる言語材料や題材が適切に選択されている。</p> <p>イ 「Column」では、日本の伝統文化とともに他国の文化に対する理解を深めることができ、国際理解に役立つ題材が適切に取り上げられている。</p> <p>ウ 「Alphabet Corner」では、既習のアルファベットや単語をクロスワード等で学ぶことができ、興味・関心や意欲を高める工夫がされている。</p>

<p>15 三省堂</p>	<p>ア 飲食店での買物、道案内等の暮らしに関わる場面を扱い、実生活・実社会で役立つ言語材料や題材が適切に選択されている。</p> <p>イ 世界の小学校の様子や世界の祭り、時差等、国際社会に目を向けることができる題材が適切に取り上げられている。</p> <p>ウ 「JUMP 2」では、グループで取り組めるコミュニケーション活動が取り入れられ、興味・関心や意欲を高める工夫がされている。</p>
<p>17 教出</p>	<p>ア 行きたいところ、夏休みの思い出等、児童の興味を喚起する場面が設定され、実生活・実社会で役立つ言語材料や題材が適切に選択されている。</p> <p>イ 外国の学校の様子や世界の絶滅危惧種をテーマとした内容等、国際理解を深めることができる題材が適切に取り上げられている。</p> <p>ウ ペアやグループで取り組む言語活動や協力し合いながらの活動が多く取り入れられており、興味・関心や意欲を高める工夫がされている。</p>
<p>38 光村</p>	<p>ア 道案内や値段当てクイズ、料理の注文等、豊かな話題が取り上げられ、実際の生活に即した言語材料や題材が適切に選択されている。</p> <p>イ 「英語の歌」とそれに伴うコメントや「World Tour」において、外国の文化に触れ、異国への理解を深める題材が適切に取り上げられている。</p> <p>ウ 「You can do it!」で自己表現活動、「CAN-DO」リストで自己評価という流れになっており、興味・関心や意欲を高める工夫がされている。</p>
<p>61 啓林館</p>	<p>ア 探し物やアンケート等を取り入れ、児童にとって身近な場面が設定され、生活の中でよく使われる言語材料や題材が適切に選択されている。</p> <p>イ 「Did you know?」では異文化の話題が取り上げられており、視野を広げて異文化理解が深められるような題材が適切に取り上げられている。</p> <p>ウ 単元末の「Activity」では、ペアやグループで行う言語活動が設定されており、興味・関心や意欲を高める工夫がされている。</p>

観 点	着 眼 点
3 内容 (2) 内容の程度	<p>ア 外国語活動の内容を繰り返し活用しつつ、広がりのある話題を設定するなど、外国語活動との関連が図られているか。</p> <p>イ 外国や日本の生活の文化及び習慣について理解を深めるとともに、言語や文化への関心を高めるよう工夫されているか。</p> <p>ウ 文及び文構造については、言語活動の中で基本的な表現として繰り返し触れるような工夫がされているか。</p>

(注) 特徴・長所等欄の各項目先頭の符号は、着眼点との関連を表す。

発行者	特 徴 ・ 長 所 等
2 東 書	<p>ア 「Starting Out」では、既習の表現を音声で復習できるよう構成されており、外国語活動との関連が図られている。</p> <p>イ 「Over the Horizon」では、世界の国々の日常生活・文化等に関するものが取り上げられており、言語や文化への関心を高めるよう工夫されている。</p> <p>ウ 「Let's Read and Write」では、文の書き写しを継続して行い、「Check Your Steps」等で、既習の言語材料を繰り返し触れるよう工夫されている。</p>
9 開 隆 堂	<p>ア 「Spring Festival」では、既習の表現をまとめて復習できるように工夫されており、外国語活動との関連が図られている。</p> <p>イ 外国の食べ物の値段や職業の言い方、世界の衣食住を知る活動を通して、言語や文化への関心を高めるよう工夫がされている。</p> <p>ウ 「文字に慣れよう」では、アルファベットや既習の表現を繰り返し触れるよう工夫されている。</p>
11 学 図	<p>ア 「Pre-lesson」では、既習の表現をまとめて復習できるように工夫されており、外国語活動との関連が図られている。</p> <p>イ 外国の名前や観光名所を取り上げたり、「Word Corner」で身近な表現を扱ったりするなど言語や文化への関心を高めるよう工夫されている。</p> <p>ウ 各単元の「Use & Check」等で既習事項を振り返ったり、「Project Time」で学んだことを生かして活動したりできるよう工夫されている。</p>

<p>15 三省堂</p>	<p>ア 「英語で言えるかな」では、これまで学習したことを復習できるよう工夫されており、外国語活動との関連が図られている。</p> <p>イ 実際の世界の標識や観光案内ポスター等を題材として扱うなど、言語や文化への関心を高められるよう工夫されている。</p> <p>ウ 「Listen & Talk」では、繰り返し既習事項を聞いたり、自己表現したりできるよう工夫されている。</p>
<p>17 教出</p>	<p>ア 「Let's Start Together」では、これまで学習したことを復習できるよう工夫されており、外国語活動との関連が図られている。</p> <p>イ 好きな日本文化を紹介するポスターを作成し、発表し合う活動等、自国の文化への関心が高められるよう工夫されている。</p> <p>ウ 「My Word Bank」では、分類ごとに分かれた単語カードや各単元で使えるワークシート等で既習事項に繰り返し触れられるよう工夫されている。</p>
<p>38 光村</p>	<p>ア 「Let's start」では、これまで学習したことを復習できるよう工夫されており、外国語活動との関連が図られている。</p> <p>イ 「世界の友達」では、自分と同世代の友達を通じて他国の文化や習慣が紹介され、言語や文化への関心を高められるよう工夫されている。</p> <p>ウ 「Fun Time」では、アルファベットの復習や英語の歌、物語等を取り入れ、既習事項について繰り返し触れられるよう工夫されている。</p>
<p>61 啓林館</p>	<p>ア 「Pre Unit」では、外国語活動の内容が取り入れられており、既習表現を繰り返し使うなど外国語活動との関連が図られている。</p> <p>イ 「Did you know?」では、世界の文化や習慣が紹介されており、外国の文化への関心が高まるよう工夫されている。</p> <p>ウ 「CHALLENGE」では、図やポスター等を取り入れ、習得した知識・技能を繰り返し触れられるよう工夫されている。</p>

観 点	着 眼 点
3 内容 (3) 内容の構成	ア 教材が系統的に組み立てられ、その配列や関連付けが適切であるか。 イ 音声十分に慣れ親しんだ後に、「読むこと」「書くこと」の言語活動に取り組めるよう工夫されているか。 ウ 丁寧な文字指導や読み書きの指導ができるよう構成されているか。

(注) 特徴・長所等欄の各項目先頭の符号は、着眼点との関連を表す。

発行者	特 徴 ・ 長 所 等
2 東 書	ア 5年は「日本」、6年は「世界」をテーマに、1年間の学習単元を大きく三つにまとめ、それぞれゴールに向けて教材が系統的に配列されている。 イ 各単元が「聞く→話す→読む・書く」の流れになっており、アウトプットの前に十分な音のインプットができるよう工夫されている。 ウ 「Sounds and Letters」で文字を読み書きする基礎力を培い、「Let's Read and Write」で慣れ親しんだフレーズを書くよう構成されている。
9 開 隆 堂	ア 5年では「英語で広がる世界」、6年では「世界の中の自分」というテーマが設定され、教材が系統的に配列されている。 イ 音声十分に慣れ親しんだから、単元の後半で「Let's Read and Write」を使って読み書きの活動に取り組めるよう工夫されている。 ウ 5年、6年ともに、教科書後半の「文字に慣れよう」というコーナーで、繰り返し文字指導や読み書きの指導ができるよう構成されている。
11 学 図	ア 2年間を通じて目標を実現できるように構成され、平易なものから難しいものへの段階的な学習となるよう、教材が系統的に配列されている。 イ どの単元においても、音声十分に慣れ親しんだから読み書きの言語活動に取り組めるよう工夫されている。 ウ アルファベットの形や位置に注意を促す活動を取り入れ、「見る→指で追う→なぞる→書き写す→書く」の流れで構成されている。

<p>15 三省堂</p>	<p>ア 2学年で六つの大きな言語活動の目標を設定し、それらに向けて学びを深める大単元構成となっており、教材が系統的に配列されている。</p> <p>イ 聞く・話す活動を十分行った後に、無理のない内容で読み書きの言語活動に取り組めるよう工夫されている。</p> <p>ウ 「Write & Speak」や「Write & Talk」をまとめの活動として位置付け、ターゲット表現に絞って無理なく書く指導ができるよう構成されている。</p>
<p>17 教出</p>	<p>ア 「We Can!」の単元構成をベースに、発達段階に応じて、視点が広がるよう、教材が系統的に配列されている。</p> <p>イ 聞く・話す活動を十分行った後に、書く活動が設定されており、無理なく文字に親しめるよう工夫されている。</p> <p>ウ 各単元末に文字を読んだり書いたりするコーナーが用意されており、クイズ形式で楽しみながら取り組めるよう構成されている。</p>
<p>38 光村</p>	<p>ア 5・6年を通して、一貫したストーリーになっており、平易なものから段階的に難度が高くなるよう、系統的に配列されている。</p> <p>イ 「Jump!」では、音声を聞いて文字を指でなぞる活動から読むことにつなげており、スモールステップで無理なく文字に親しめるよう工夫されている。</p> <p>ウ 5年前半にある「Alphabet Time 1～3」で丁寧な文字指導を行い、「Let's write」で語句をなぞったり書き写したりできるよう構成されている。</p>
<p>61 啓林館</p>	<p>ア 「Pre Unit」や数単元ごとに設けられている「REVIEW」で既習表現を復習しながら、「We Can!」に沿って教材が系統的に配列されている。</p> <p>イ 「Listen and Do」や「Chant」、「Jingle」等で音声に十分慣れ親しんだ後に、読み書きの言語活動に取り組めるよう工夫されている。</p> <p>ウ 5年で活字体を書く活動を一文字ずつ丁寧に取り上げ、6年で語句や文章を書き写す活動を設定することで、段階的に学習できるよう構成されている。</p>

観 点	着 眼 点
4 表記・表現及び使用上の便宜等	<p>ア 音声・符号等の学習に配慮がされているか。</p> <p>イ 児童の興味・関心・意欲を高めるような、適切な表記・表現がされているか。</p> <p>ウ 本文記述と挿絵・イラスト・写真・図表等に適切な関連付けがされているか。</p> <p>エ 目次・索引・注・凡例・諸表・資料等が、必要に応じて用意されているか。</p>

(注) 特徴・長所等欄の各項目先頭の符号は、着眼点との関連を表す。

発行者	特 徴 ・ 長 所 等
2 東 書	<p>ア 歌やチャンツが豊富に用意されており、英語特有の音声やリズムに楽しく自然に慣れ親しむことができるよう、配慮されている。</p> <p>イ 身近な日常生活や学校生活に関連する場面を豊富に取り入れて、意欲を高めるような適切な表現がされている。</p> <p>ウ ペア活動の手順を人物のイラストと吹き出しを使って分かりやすく示すなど、本文の記述と適切に関連付けられている。</p> <p>エ 別冊に語彙・表現集「Picture Dictionary」があり、児童が使いやすく工夫され、巻末には切り取り線付き絵カードが用意されている。</p>
9 開 隆 堂	<p>ア 「発音クリニック」では、英語の音声の特徴、強勢・イントネーション等バランスよく扱っており、配慮されている。</p> <p>イ 題材の配列が児童の日常生活に合っており、児童の興味・関心、生活体験に合った学習を展開することが可能となるよう、適切な表現がされている。</p> <p>ウ 活動のイメージが湧くようなイラスト・写真が豊富に使われており、本文の記述と適切に関連付けられている。</p> <p>エ 学習目標やできるようになったことを意識できるように、巻頭に CAN-DO マップ、各単元には振り返りが用意されている。</p>
11 学 図	<p>ア 日本語と英語の違いに対する気付きを促すページを設けたり、「Sounds & Letters」で音声と文字の関連付けをしたりするなど、配慮されている。</p> <p>イ 児童にとって身近で簡単な事柄や学校・地域の行事の話題、他教科や異文化に関連する内容が扱われ関心を高めるような適切な表現がされている。</p> <p>ウ 活動のイメージが湧く豊富なイラストや写真が使われており、本文の記述と適切に関連付けられている。</p> <p>エ 巻頭に「Pre-lesson」として、学習してきた表現や、クラスルームイングリッシュ等が確認しやすく豊富に掲載されている。</p>

<p>15 三省堂</p>	<p>ア 「Sound Chant」や「Word Chant」等、多くの音声教材があり、日本語との違いや音と文字の関係に気付かせるよう、配慮されている。</p> <p>イ 身近なものや世界を広げるもの等、様々な題材を用意し、「Panorama」の絵や「Story」等で、児童の興味、高めるような適切な表現がされている。</p> <p>ウ 場面設定が明確になるようなイラストや活動内容が分かるような写真が使われており、本文の記述と適切に関連付けられている。</p> <p>エ 言葉や文化についての情報、コミュニケーションをとるときに活用できる資料等が、本編と関連をもちながら豊富に用意されている。</p>
<p>17 教出</p>	<p>ア 「Sounds and Letters」では、英語の音声の特徴、強勢・イントネーション等バランスよく扱っており、配慮されている。</p> <p>イ 実生活に即した場面がたくさん設定してあり、豊富なワークシートも用意され、児童の関心を高めるような、適切な表記・表現がされている。</p> <p>ウ 児童の想像力を高める写真や活動内容が分かるようなイラストが使われており、本文の記述と適切に関連付けられている。</p> <p>エ 他教科で学習した教材が掲載されており、巻末には活動用シール、切り取り線付き絵カード、ワークシート等が用意されている。</p>
<p>38 光村</p>	<p>ア 「発音」や「Sounds and Letters」で音声の知識を押さえ、「Fun Time」で楽しみながら音声と文字に親しめるよう配慮されている。</p> <p>イ 身近な学校生活を題材にした「Story」から始まる構成で、関心を高めるような、適切な表記・表現がされている。</p> <p>ウ 児童が内容を推測しやすいよう、写真やイラストが豊富に使われていており、本文の記述と適切に関連付けられている。</p> <p>エ 切り取り可能な「ペンマンシップ・シート」やシール、「学びのパスポート」等、児童の学習を助ける巻末資料が用意されている。</p>
<p>61 啓林館</p>	<p>ア 「Let's Read and Write」で音と文字についての気付きを与えたり、「Chant」で強勢ポイントを示したりして、音声に親しませるよう配慮されている。</p> <p>イ 児童の身近な題材や異文化や他教科に関連する内容を扱うことで、児童の関心を高めるような適切な表記・表現がされている。</p> <p>ウ 単元ごとに活動内容や本文理解を助けるイラストや写真が盛り込まれ、本文の記述と適切に関連付けられている。</p> <p>エ 巻末にはジャンル別の「Word List」や領域ごとの「Can-Do List」、切り取り線付きの絵カード等、児童の学習を助ける資料が用意されている。</p>

観 点	着 眼 点
5 印刷・造本等	<p>ア 印刷の鮮明度、文字の大きさ、色彩等は適切であるか。</p> <p>イ ユニバーサルデザイン化が図られているか。</p> <p>ウ 造本の堅ろうさや体裁は適切であるか。</p>

(注) 特徴・長所等欄の各項目先頭の符号は、着眼点との関連を表す。

発行者	特 徴 ・ 長 所 等
2 東 書	<p>ア 印刷は鮮明で、文字のフォントを大きくしたり文字に網掛けを付けたりするなどし、分かりやすく、適切である。</p> <p>イ 書くときに近い形状の書体を使用し、2・3線の間を広くして文字の導入期に配慮するなど、ユニバーサルデザイン化が図られている。</p> <p>ウ A4判サイズを採用し、紙は丈夫かつ裏抜けしづらいものを用い、1年間の使用に耐えうる堅ろうな造りである。</p>
9 開 隆 堂	<p>ア 印刷は鮮明で、文節や意味による改行をするなど、全ての児童が支障なく学習できるよう配慮しており、適切である。</p> <p>イ 活動ごとに同じ色で統一したり、書くときに近い形状の書体を使用したりするなど、ユニバーサルデザイン化が図られている。</p> <p>ウ AB判サイズを採用し、鉛筆で書きやすい用紙を使用しており、かつ1年間の使用に耐えうる堅ろうな造りである。</p>
11 学 図	<p>ア 印刷は鮮明で、文字が見やすく、イラストや写真と本文がバランスよく配置されているなど、適切である。</p> <p>イ 「書く」活動の見本の文字が大きく、入門期でも認識しやすい書体と太さの文字を使用するなど、ユニバーサルデザイン化が図られている。</p> <p>ウ A4判サイズを採用し、丈夫な用紙を使用しており、かつ1年間の使用に耐えうる堅ろうな造りである。</p>

<p>15 三省堂</p>	<p>ア 印刷は鮮明で、白色度の高すぎない紙を使用し、イラストや写真と本文がバランスよく配置されているなど、適切である。</p> <p>イ どこでどの活動をするのか、学ぶプロセスが一目で分かるように紙面の構成を統一させるなど、ユニバーサルデザイン化が図られている。</p> <p>ウ AB判サイズを採用し、丈夫な用紙を使用しており、かつ1年間の使用に耐えうる堅ろうな造りである。</p>
<p>17 教出</p>	<p>ア 印刷は鮮明で、必要に応じて文字の色を変えたり、淡色で空欄を示したりするなどの配慮がされており、適切である。</p> <p>イ 書くときに近い形状の書体を使用したり、活動ごとに分かりやすいアイコンが工夫されたりするなど、ユニバーサルデザイン化が図られている。</p> <p>ウ AB判サイズを採用し、丈夫な用紙を使用しており、かつ1年間の使用に耐えうる堅ろうな造りである。</p>
<p>38 光村</p>	<p>ア 日本語の説明の文字が大きいサイズで読みやすく、イラストや写真の配色が鮮やかであり、印刷も鮮明で適切である。</p> <p>イ 書くときに近い形状の書体を使用し、2・3線の間を広くして文字の導入期に配慮するなど、ユニバーサルデザイン化が図られている。</p> <p>ウ AB判サイズを採用し、鉛筆で書きやすい用紙を使用しており、かつ1年間の使用に耐えうる堅ろうな造りである。</p>
<p>61 啓林館</p>	<p>ア 印刷は鮮明で、文節や意味による改行をするなど、全ての児童が支障なく学習できるよう配慮されており、適切である。</p> <p>イ 書くときに近い形状の書体を使用したり、会話文が読みやすいように行間を広くしたりするなど、ユニバーサルデザイン化が図られている。</p> <p>ウ AB判サイズを採用し、鉛筆で書きやすい用紙を使用しており、かつ1年間の使用に耐えうる堅ろうな造りである。</p>

発行者・書名一覧

発行者の番号・略称	発 行 者	書 名
2 東書	東京書籍株式会社	NEW HORIZON Elementary English Course 5 English Course Picture Dictionary English Course 6
9 開隆堂	開隆堂出版株式会社	Junior Sunshine 5, 6
11 学図	学校図書株式会社	JUNIOR TOTAL ENGLISH 1, 2
15 三省堂	株式会社三省堂	CROWN Jr. 5, 6
17 教出	教育出版株式会社	ONE WORLD Smiles 5, 6
38 光村	光村図書出版株式会社	Here We Go! 5, 6
61 啓林館	株式会社 新興出版社啓林館	Blue Sky elementary 5, 6